



令和3年3月31日

東京都千代田区四番町5番地3

科学技術振興機構（JST）

Tel : 03-5214-8404（広報課）

URL <https://www.jst.go.jp>

**研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）
トライアウトタイプ：with/postコロナにおける
社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援
令和2年度追加公募における新規採択課題の決定について**

JST（理事長 濱口 道成）は、研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）トライアウトタイプの令和2年度追加募集における新規採択課題として、「標準」300件、「実装加速」11件を決定しました（別紙1、2）。

A-STEPトライアウトは、大学等の研究成果に基づいた技術の実現可能性を検証する公募型の研究開発費支援制度（研究費支援）と、マッチングプランナーによる産と学のマッチングや事業化に向けての研究開発活動の支援（人的支援）により、本格的な産学共同研究開発への移行へつなぐプログラムです。

本公募は、with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援を目的とし、令和3年度公募を前倒しする形で、A-STEPトライアウトの形式を利用し、「トライアウトタイプ」として実施しました。募集期間は、令和2年12月24日（木）から令和3年1月21日（木）までとし、「標準」に879件、「実装加速」に41件の応募がありました。

募集締め切り後、外部専門家による評価会議にて、技術シーズの新規性・優位性、イノベーションインパクト（with/postコロナ社会への貢献など）、研究開発の目標・計画の妥当性などの観点から審査し、採択課題を決定しました。

今後、契約などの条件が整い次第、研究開発を開始する予定です。

<添付資料>

別紙1：A-STEP令和2年度追加公募（トライアウトタイプ：with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援）「標準」新規採択課題一覧

別紙2：A-STEP令和2年度追加公募（トライアウトタイプ：with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援）「実装加速」新規採択課題一覧

参考1：A-STEP プログラム概要

参考2：A-STEP令和2年度追加公募（トライアウトタイプ）<標準>新規採択課題の参考データ

参考3：A-STEPトライアウト 評価・推進会議委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 産学連携展開部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

佐藤 喜一（サトウ ヨシカズ）

Tel : 03-6272-4732

E-mail : [mp\[at\]jst.go.jp](mailto:mp[at]jst.go.jp)

**A-STEP 令和2年度追加公募（トライアウトタイプ：
with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援）
「標準」新規採択課題一覧**

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
1	肉用牛生産における死亡事故を未然に防ぐルーメン内細菌叢調整機能を有する国産木質飼料の開発	帯広畜産大学	福間 直希
2	自動施工に向けた空気中での鉄鋼材料レーザー窒化技術の開発	北見工業大学	大津 直史
3	次亜塩素酸消毒液の濃度を明瞭多彩な色調および表示形状変化により測定できる試験紙の開発	北見工業大学	兼清 泰正
4	暴風雪観測装置の開発	釧路工業高等専門学校	佐川 正人
5	微生物不活性化用次世代深紫外線レーザー光源の開発	公立千歳科学技術大学	梅村 信弘
6	細胞内動態を制御したmiRNA阻害核酸の開発	産業技術総合研究所	平野 悠
7	生体組織を模倣した新規三次元細胞培養システムの開発	北海道大学	石原 誠一郎
8	抗原タンパク質N末端連結を基盤としたウイルスワクチン製造技術の開発	北海道大学	小野田 晃
9	行動変容を支援する最適化・機械学習融合コンパクトAIの開発	北海道大学	葛西 誠也
10	希土類発光を情報媒体としたセンシング技術	北海道大学	北川 裕一
11	ウイルス感染症予防・治療を最適化するヒト免疫体質診断システムの開発研究	北海道大学	北村 秀光
12	陸上栽培による海藻の次世代タンパク質化及び高機能性評価システムの構築	北海道大学	熊谷 祐也
13	COVID-19の重症化リスクを低減する抗炎症魚肉タンパク質の開発	北海道大学	佐伯 宏樹
14	ミスト・プラズマCVDによるポストコロナ向けコーティング技術の開発	北海道大学	島田 敏宏
15	集合フェロモンを用いた衛生害虫誘引剤の開発	北海道大学	西野 浩史
16	感染症に伴う免疫応答と抗原糖鎖修飾の相関解析技術	北海道大学	比能 洋
17	Rhokinaseを光制御する試薬の開発	北海道大学	松尾 和哉
18	荷電イカ墨色素粒子による生物粒子の吸着・吸着抑制機能の検討	北海道教育大学	松浦 俊彦
19	アナログ写真資産を高度に活用するためのカラーネガフィルム高品質ネガポジ反転技術の研究開発	北海道立総合研究機構	宮崎 俊之
20	ヒト化抗菌タンパク質を用いた皮膚炎症起因菌の増殖を抑える機能性バイオ化粧品の開発	弘前大学	葛西 宏介
21	遠隔指導可能な口腔ケアスキル訓練システムの開発	岩手大学	佐々木 誠

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
22	ポリ(アルブチン-エチレンイミン)共重合体(PArb-PEI)と銀ナノ粒子複合体合成による農業資材用抗酸化、抗菌・抗ウイルス化塗布技術への展開	岩手大学	芝崎 祐二
23	ナノ秒パルスプラズマを利用した革新的な小型軽量・高効率エアロゾル除去装置の開発	岩手大学	高橋 克幸
24	消毒効率を向上させるための継手を用いた幼児用玩具の造形要素の分析とプロダクト化	岩手大学	田中 隆充
25	円筒型MgB ₂ 超伝導バルク磁石を用いた無冷媒・低コスト・省スペースなベンチトップ型核磁気共鳴装置の開発	岩手大学	内藤 智之
26	with/postコロナ社会での健康維持に資する食品の3次元造形法の開発	岩手大学	三浦 靖
27	金属3Dプリンタを用いたテラヘルツ波位相、伝搬方向制御技術の開発	東北大学	大野 誠吾
28	ごま油に含まれる機能性成分の簡便・迅速かつ高精度な分析法の構築	東北大学	乙木 百合香
29	ナノテクノロジーを用いた感染症対策技術の開発	東北大学	加藤 健太郎
30	遍在型五酸化二窒素供給源による飛沫中ウイルスの広範囲・高効率不活化の実証	東北大学	金子 俊郎
31	高融点材料探索炉の開発とその応用	東北大学	黒澤 俊介
32	高保磁力・高TMR・貴金属フリー垂直磁化固定層を有する磁気センサ素子の開発	東北大学	鈴木 和也
33	変異ウイルスにも対応可能な室内環境の感染リスク低減技術の開発	東北大学	高橋 正好
34	抗コロナウイルス免疫能測定技術の開発と実用化	東北大学	玉田 勉
35	コロナウイルスの逆磁歪電池レスセンシングと気中捕捉の原理確立	東北大学	成田 史生
36	ロボットに実装するための高感度力覚センサの開発	東北大学	FROEMEL JOERG
37	ナノバブルの殺菌効果の検証と抗ウイルス作用への応用	東北大学	馬 騰
38	カード型迅速ウイルス検出IoTセンサモジュールの開発	東北大学	藪上 信
39	哺乳類の能動的低代謝である冬眠から着想を得た新しい臓器保存戦略	東北大学	渡辺 有為
40	自由曲面の研磨を可能とする熱可塑性樹脂ボンド砥石による脆性材料の加工技術	東北学院大学	松浦 寛
41	省エネルギーかつ高出力な平面発光型UV-C紫外線発光デバイス	東北工業大学	下位 法弘
42	感染症に有効なナノ多孔体を用いた呼気分析による健康管理方法の研究開発	東北工業大学	丸尾 容子
43	分布型の多種原理・多数個センシングによる対象物識別応用に関する研究開発	東北工業大学	室山 真徳
44	分子レベルの評価に基づく抗炎症性乳酸菌選抜法の開発	宮城大学	島津 朋之

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
45	コロナ時代に対応する新規健康管理パラメーター探索のための全自動PCR装置を用いたcfDNA測定方法の確立	秋田大学	明石 英雄
46	自閉症児に対するd-セラピー早期療育法の開発	秋田大学	太田 英伸
47	液晶レンズを用いた瞳孔間距離及び視力矯正用VRゴーグルの研究開発	秋田大学	河村 希典
48	再生可能エネルギー活用に資する低コスト・低過電圧酸素発生電極触媒の開発	秋田大学	高橋 弘樹
49	化学的安定性を有するピロリン酸塩の薄膜化とそれを電解質に用いた低温 (< 200℃) 作動可能な高効率燃料電池の開発	鶴岡工業高等専門学校	内山 潔
50	光学活性 Schiff 塩基型 Ni (II) 錯体を用いたアミノ酸類の触媒的キラル化に関する研究	山形大学	今野 博行
51	非侵襲経皮抽出成分の常時モニタリングバイオセンサの開発	山形大学	長峯 邦明
52	水晶振動子ベースの手のひらサイズのリアルタイムPCR装置の開発	山形大学	古澤 宏幸
53	広い湿度環境下での駆動を指向した高分子イオン液体による電解質膜の開発	山形大学	増原 陽人
54	IoTデバイスの基材としての湿度応答性インテリジェンス高分子膜の開発	山形大学	松井 淳
55	計算化学を基盤としたアプタマーの革新的デザイン技術の開発	日本大学	山岸 賢司
56	新規糖ナノゲル粒子を用いた簡便・迅速な変異克服型ウイルス濃縮技術の開発	福島大学	尾形 慎
57	Nano-PALDIイメージングによる毛髪内ストレスマーカの探索	福島大学	平 修
58	産業機器の時系列データに基づくReal-time異常検知AIモデルの開発・実装・評価	茨城大学	周 立波
59	with/postコロナ社会における災害レジリエンス向上にむけた無電力駆動型ジャッキシステムの開発	産業技術総合研究所	細野 美奈子
60	特殊小型液体セルの開発による冷却・加熱型液中観察電子顕微鏡の実現	物質・材料研究機構	竹口 雅樹
61	“薄層シリコン/グラフェン積層コンポジット”のリチウムイオン電池負極材への実用化研究	物質・材料研究機構	唐 捷
62	オリゴペプチドによる飛沫模擬条件下の銅合金の抗ウイルス活性向上と実装手法の開発	物質・材料研究機構	山本 玲子
63	レーザー元素分離及びその場分析を適用した遠隔自動貴金属回収システムの開発	量子科学技術研究開発機構	大場 弘則
64	農産物の効率的育成を目的とした光波長変換材料の開発	宇都宮大学	手塚 慶太郎
65	複合束弾性ケーブル機構の機械的トルク制御を用いた安全な手指関節動作支援技術	宇都宮大学	中林 正隆
66	In labスクリーニングを起点とするウイルスチャフの創製	宇都宮大学	二瓶 賢一
67	量子情報処理用ルテニウム系銅酸化物高温超伝導体単結晶	宇都宮大学	八巻 和宏

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
68	超高分子量ポリエチレン配向フィルムの積層成形による高弾性率プラスチック成形体作製技術の開発	栃木県産業技術センター	大森 和宏
69	香辛料のさらなる高品質かつ安心・安全を実現する大気圧非平衡プラズマ殺菌技術	群馬大学	谷野 孝徳
70	細胞内酸素消費速度の簡易計測試薬キットの開発	群馬大学	吉原 利忠
71	CuSn合金を用いた金属積層造形物の音響特性制御技術開発	埼玉大学	阿部 壮志
72	希少金属フリー高温圧電センサ材料の開発	埼玉大学	武田 博明
73	VHH抗体を用いた二重特異性分子の開発	埼玉大学	松下 隆彦
74	単一分子検出可能なアクティブ表面増強ラマン散乱素子の開発	東洋大学	根岸 良太
75	SARS-CoV-2ゲノム合成酵素を標的とした天然成分由来阻害剤の創出～ウイルス共存社会に向けた基盤構築～	千葉大学	佐々 彰
76	接触情報の活用によるマイクロ人流データ計測技術の研究開発	千葉大学	塩田 茂雄
77	光渦パルスレーザーによるポリマー材料に対する抗菌・撥水機能の後天的付与	千葉大学	豊田 耕平
78	高速運動する物体の3次元トラッキングによる高速ハンドリングシステム	千葉大学	並木 明夫
79	レーザによる相変態を活用したダイヤモンドの自由形状創成	千葉大学	比田井 洋史
80	-70℃レベルでの医薬品輸送に向けた蒸発溶液の検討	千葉大学	廣瀬 裕二
81	クラウドコンピューティングによる高精度分子計算システムの提供	千葉大学	星野 忠次
82	非拘束計測と生活リズム情報による認知症高齢者の日常生活動作における意思推定	千葉大学	兪 文偉
83	飛沫拡散を広域高感度で即時可視化する3次元リアルタイム撮像ライダー装置の創生	東京大学	佐々木 真人
84	均質な細胞塊を効率的に作製可能な三次元細胞構造体作製デバイスの開発	東京理科大学	草森 浩輔
85	唾液中の危険ドラッグを簡便で迅速かつ安全に判定する評価システムの構築	東京理科大学	高橋 秀依
86	マイクロ流路による血中浮遊DNA状態簡易計測技術の開発	東京理科大学	早瀬 仁則
87	細胞外小胞を用いたウイルス様コロナワクチン開発のための抗原限置システムの開発	がん研究会	芝 清隆
88	人獣共通感染症克服に向けての短鎖ペプチド抗原を用いた画期的養豚検査製品の開発	北里大学	松井 英則
89	安価で高性能な促進酸化水生成用触媒電極の研究開発	工学院大学	岡田 文雄
90	建築環境における深紫外線によるウイルス不活の最適化方策	工学院大学	柳 宇

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
91	複合強化された氷フレーク圧密体による管塑性加工用充填物の開発	国土館大学	大橋 隆弘
92	A Iにより生成された顔映像フェイクメディアを検出する技術の確立	国立情報学研究所	越前 功
93	双極子測位方式による効率的な屋内歩行者ナビゲーションの実証研究	国立情報学研究所	橋爪 宏達
94	生体センサで切り拓くポストコロナ下での精神疾患・うつ診断手法確立とA Iシステムの構築	芝浦工業大学	菅谷 みどり
95	実構造物における外的要因を考慮したレーザー技術によるねじ締結体の遠隔緩み検出	芝浦工業大学	細矢 直基
96	肺疾患診断用E L I S A系構築に向けたデスモンタンパク質複合体抗原の大量合成	上智大学	臼杵 豊展
97	コロナ感染後の炎症拡大抑制に向けたルテニウム錯体合成・最適化によるレニン・アンジオテンシン系関連遺伝子活性化経路の探索	上智大学	神澤 信行
98	振動誘起流れを用いたナノバイオ物質の分離・濃縮技術	中央大学	早川 健
99	非接触型ピンポイント遠隔聴診システムの開発	電気通信大学	小泉 憲裕
100	哺乳類初の発光酵素が開く新規診断方法の基盤技術開発	電気通信大学	仲村 厚志
101	電子デバイスによる携帯型ウイルスセンサの開発	東京大学	坂田 利弥
102	生細胞での長時間マルチカラー1分子蛍光追跡を可能にする蛍光標識技術開発	東京大学	並木 繁行
103	腸内メタゲノムデータを用いた改変ファージの作製とその応用	東京大学	藤本 康介
104	家庭での詳細な食事管理を実現するレシピ作成支援システムRecipeLogの開発	東京大学	山肩 洋子
105	メイラード反応で生成されたリゾチーム-キトサン糖複合体のSARS-CoV-2を含むウイルスに対する抗ウイルス活性の評価	東京医科歯科大学	宮崎 泰成
106	磯焼け領域のウニの低侵襲の採捕・蓄養の持続可能なサービスシステムの構築試験	東京海洋大学	和泉 充
107	ユビキタス光学検査システム創出のための研究開発	東京工業大学	河野 行雄
108	可搬型ベクトルUVPデバイスによるプラント配管非破壊検査システムの開発	東京工業大学	木倉 宏成
109	移動体への適用を目的とした高電力密度・高効率化を同時に実現可能な革新的直流変換器の研究開発	東京工業大学	萩原 誠
110	A IプロテオミクスによるCOVID-19の早期診断法の実用化研究	東京工業大学	林 宣宏
111	エネルギーハーベスト無線力率センサによるスマートファクトリー化の加速	東京工業高等専門学校	水戸 慎一郎
112	放射線グラフト重合技術を駆使したガドリニウム造影剤吸着技術の開発	東京都立大学	井上 一雅
113	A Iを用いた遠隔運動指導プログラムシステムの開発	東京都立大学	来間 弘展

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
114	無機有機複合型一次世代色素材料の開発	東京都立大学	高木 慎介
115	中気圧プラズマによるラジカルフラックス向上を利用した布付着菌及びウイルスの高速不活化	東京都立大学	中川 雄介
116	マイクロ3次元構造体を用いた高感度・迅速酵素免疫測定法用検査システムの開発	東京都立大学	楊 明
117	長波長赤外線用偏光分離メタレンズの開発	東京農工大学	岩見 健太郎
118	人獣オーガン・オルガノイド・オンチップシステムの開発	東京農工大学	臼井 達哉
119	耐酸性微細藻類イデユコゴメを用いた新規経口ワクチンの開発	東京農工大学	大松 勉
120	未利用廃棄カシューナッツ殻油を原料とする抗菌性バイオマスプラスチックの開発	東京農工大学	兼橋 真二
121	記述式の手書き答案の自動採点	東京農工大学	NGUYEN T UAN HUNG
122	溶解性制御タグ（SCPタグ）によって自己会合させたSARS-コロナウイルス由来スパイク蛋白質受容体結合ドメイン（RBD）を用いた安価かつ汎用的な抗体検出法の開発	東京農工大学	黒田 裕
123	非水電気アルミニウムめっきによるワイヤ状通電加熱触媒材料の開発	東京農工大学	桜井 誠
124	細胞培養液の必要血清濃度低減を志向した高分子添加物の研究	東京理科大学	大澤 重仁
125	表面電位付与による潤滑油の吸着構造制御を指向した新規すべり軸受の開発	東京理科大学	川田 将平
126	水素社会の構築を加速させる水分解光触媒の実用化と燃料電池の高機能化	東京理科大学	根岸 雄一
127	リモートショッピングにおける形状誤認を防ぐ商品提示環境の開発	明治大学	杉原 厚吉
128	ウイルス感染拡大を評価する環境アセスメント法の開発	早稲田大学	伊藤 悦朗
129	宇宙用硫化物系固体潤滑剤による界面制御技術を応用した全固体電池の開発	宇宙航空研究開発機構	曾根 理嗣
130	コロナウイルス肺炎の早期診断・重症化予測を可能とする人工知能聴診デバイスの開発	聖マリアンナ医科大学	小林 泰之
131	超高感度Au錘3軸MEMS加速度センサにおける容量オフセット削減技術の研究	東京工業大学	伊藤 浩之
132	自己分極した μm 厚みの圧電体膜を用いたフレキシブルデバイスの開発	東京工業大学	白石 貴久
133	生活環境リスクを可視化する抗体センサーの開発	東京工業大学	中村 浩之
134	複数の会話の輪が存在可能なオンラインワークスペース	東京工業大学	長谷川 晶一
135	ホログラフィック光学素子を用いた空中映像3Dタッチインターフェイス	東京工業大学	山口 雅浩
136	電子駆動型の酸素選択透過膜の創製	横浜国立大学	稲垣 怜史

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
137	卵管内環境を利用した和牛用精子スクリーニングチップの開発	横浜国立大学	百武 徹
138	DHS-電気凝固プロセスによる殺菌機能を有する新規小型排水処理システムの開発	長岡技術科学大学	渡利 高大
139	病理診断における組織標本作成に特化した超音波発生機器の研究開発	富山大学	八田 秀樹
140	骨折時に高純度マグネシウム製インプラントを使用することによるpostコロナにおいて健康で自立した生活を送る高齢者への低侵襲治療法の提供	富山高等専門学校	井上 誠
141	セルロースナノ繊維及び現場重合型熱可塑性樹脂を用いた高性能不連続炭素繊維複合材料の開発	石川県工業試験場	長谷部 裕之
142	迅速な医薬品の胆汁中移行性評価を可能にする肝細胞培養系の開発	金沢大学	荒川 大
143	with/postコロナ社会における生体試料の維持のための廉価・高性能な凍結保存剤	金沢大学	黒田 浩介
144	コロナ禍での産地直送の活イカを実現させるための技術開発	金沢大学	鈴木 信雄
145	熱可塑性CFRPの組紐プレス成形による自動車ホイールリム製作法	金沢大学	立野 大地
146	シミュレーションに基づいたガンマカメライメージングシステムの校正方法の開発	金沢医科大学	奥田 光一
147	人手に代わり食品を採取可能なユニバーサルロボットハンドの開発	北陸先端科学技術大学院大学	HO ANH VAN
148	在宅勤務時の生体リズムを整えるサーカディアン刺激制御照明システムの開発	福井大学	明石 行生
149	画像解析によるウイルスRNA検査システムの開発	福井大学	坂元 博昭
150	リモート管理が可能な小領域分割法による外観検査技術の確立	福井大学	張 潮
151	レーザ回折像の位相解析によるインフラ構造物のリアルタイム高精度変位分布計測手法の開発	福井大学	藤垣 元治
152	with/postコロナ社会への貢献に向けた難溶性リガンドに基づく創薬のためのハイスループット結晶構造解析法の開発	山梨大学	大山 拓次
153	新規圧電単結晶(Ca ₃ TaGa ₃ Si ₂ O ₁₄)を用いた5G向け高周波・高安定フィルタの開発	山梨大学	垣尾 省司
154	分析工程の全自動化を可能とするスマートイオン源/質量分析法の開発	山梨大学	二宮 啓
155	災害による停電を想定しスマートコンセントを活用する再生可能エネルギー復旧システム	公立諏訪東京理科大学	平田 陽一
156	認知症予防に向けた水溶性フェルラ酸ルチノシドの飲料素材としての実用化技術の開発	信州大学	片山 茂
157	中温中高压処理による酵素不活性化手法の確立および高品質保存食品の開発	長野県工業技術総合センター	山崎 慎也
158	人体に非侵襲なコロナウイルス殺菌光源の開発：高効率電子線励起深紫外殺菌灯	静岡大学	根尾 陽一郎
159	カプセル内視鏡で撮影した動画を用いたVisual SLAMによる病変と疑われる部分の抽出	静岡大学	三浦 憲二郎

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
160	遺伝子ワクチンのための脂質ナノ粒子の研究開発	静岡県立大学	浅井 知浩
161	配列解析を礎としたインシリコ蛋白質デザインによるバイオ企業R&D支援	静岡県立大学	伊藤 創平
162	転写因子FOXO1を標的とした筋萎縮予防のための新規機能性食品の開発	静岡県立大学	三浦 進司
163	機能性成分ジオスゲニンを高含有する自然薯新品種の創出	静岡県立大学	三好 規之
164	抗新型コロナウイルス効果を有する機能性食品の開発	静岡県立大学	渡辺 賢二
165	熱力学平衡温度を超越する温熱回収型高温生成吸収式ヒートポンプ	岐阜大学	板谷 義紀
166	海からやってくる人獣共通感染ウイルスのヒトへの侵入に備えた診断デバイス開発	岐阜大学	猪島 康雄
167	スケルトンシリカナノ粒子を用いた高感度な生体由来の小型硫黄成分分析デバイス開発	岐阜大学	高井(山下) 千加
168	抗ウイルス活性繊維を利用したマスクの開発と性能評価	中部大学	伊藤 守弘
169	新型コロナウイルスのワクチン輸送のための軽量で高性能断熱容器の開発	中部大学	神田 昌枝
170	脱炭素／分散社会のためのパワーエレクトロニクスに向けたGaN絶縁ゲート構造形成技術の開発	豊橋技術科学大学	岡田 浩
171	次世代シークエンサーを用いた船底塗料のテラーメード選定	豊橋技術科学大学	広瀬 侑
172	オレフィン系高分子材料の触媒添加による難燃化	名古屋大学	上野 智永
173	電子制御型擬似スーパーコンティニューム光を用いた高解像OCT/OCMの開発	名古屋大学	西澤 典彦
174	酵素と電気化学的手法を用いたDアミノ酸の高感度・簡易迅速測定法開発	名古屋大学	吉村 徹
175	ショットピーニングによる高周波低損失無方向性電磁鋼板の創出	名古屋工業大学	佐藤 尚
176	コロナ感染症蔓延下のICTを活用した脳卒中等の救急診療支援スキームの開発	藤田医科大学	松本 省二
177	ニューノーマル時代の持続可能な化成品生産の研究開発—光合成細菌によるCO ₂ を資源とするバイオエチレンの高生産—	名城大学	神藤 定生
178	熱循環による高効率土地利用型バイオメタン生産システムの確立	名城大学	田村 廣人
179	熱交換器検査技術の全自動化を可能にする電磁非破壊検査法の提案	鳥羽商船高等専門学校	吉岡 宰次郎
180	高品質を実現するウルトラファインバブルによるアイスクリームの製造技術の開発	三重県工業研究所	佐合 徹
181	フライングウォッシャー：アドオン型水平駆動モジュール搭載UAVによる高所高圧洗浄	立命館大学	下ノ村 和弘
182	コロナ禍で化粧品市場を牽引するスキンケア基材のアミド化合物の環境に優しい製造法開発	立命館大学	松井 大亮

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
183	高輝度発光性タンパク作製用高分子ラベル化剤の開発	京都大学	伊藤 峻一郎
184	自己集合性ワクチンアジュバント材料	京都大学	上杉 志成
185	撥水性表面の欠損の迅速検出のための蛍光指示薬の開発	京都大学	権 正行
186	低温域でも作動する不可逆サーモクロミズム発光フィルムの開発	京都大学	田中 一生
187	無給電動作が可能な超軟質圧力センサの開発	京都工芸繊維大学	石井 佑弥
188	紫外発光有機EL素子用蛍光材料の開発	京都工芸繊維大学	清水 正毅
189	超高感度・高速レーザガスセンサを搭載した燃料電池運転状態連続監視システムの開発	京都工芸繊維大学	西田 耕介
190	迅速、低コストな抗原・抗体検査のための高機能強磁性金属ナノ材料の開発	京都市産業技術研究所	塩見 昌平
191	パイプハウスを利用した小規模多品目農作物生産の安定化に資するロバスト性の高い超精密農業を実現する果実の蛍光反応を活用した果菜類のラベルフリー個別果実識別技術の開発	京都府農林水産技術センター	竹本 哲行
192	不活動によるフレイルを予防・改善する機能性素材評価系の確立へむけて	京都府立大学	青井 渉
193	コロナ感染症に立ち向かう健康作りに貢献する食事リズムの重要性検証とその支援技術の開発	京都府立大学	岩崎 有作
194	ダチョウ抗体を活用した新型コロナウイルス感染予防対策甘酒の開発	京都府立大学	増村 威宏
195	アート・文化財を起点に高齢者の社会的活動を支援するVRフレイル予防プログラムの開発	京都府立医科大学	妹尾 恵太郎
196	三次元画像解析による排尿動態チェックシステム	京都府立医科大学	内藤 泰行
197	実使用状況を忠実に再現した評価法に基づき有効性が実証された空間消毒および環境消毒の実現を目指した機器開発研究	京都府立医科大学	廣瀬 亮平
198	超音波照射による酸化ストレス耐性誘導を介したサルコペニア予防法の開発	同志社大学	市川 寛
199	パーソナル小型脳動脈評価装置の開発	同志社大学	松川 真美
200	小型・モジュール化レーザーによるレーザー誘起振動波検査システムの開発	量子科学技術研究開発機構	錦野 将元
201	印刷型イオンセンサを用いた小型オンサイト土壌健康診断装置の開発	大阪大学	荒木 徹平
202	完全リモート型金属積層造形プロセスの開発	大阪大学	近藤 勝義
203	抗菌・ウイルス不活化作用を有する銅合金の3Dレーザコーティング技術の開発	大阪大学	佐藤 雄二
204	プラスチック表面酸化による抗菌抗ウイルス機能を有する銅の易接着技術の開発	大阪大学	徐 于懿
205	下水中の新型コロナウイルス存在実態を非標識で検出可能な高感度テラヘルツバイオセンサーの開発	大阪大学	芹田 和則

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
206	With/postコロナ社会におけるナノ粒子の有効活用を目指した、日本発の生体試料応用型1粒子ICP-MSの開発	大阪大学	長野 一也
207	有機太陽電池用革新的低コスト非フラーレンアクセプターの開発	大阪大学	中山 健一
208	眼球運動及び筋電位を用いたスマートグラス表示制御方法の開発	大阪工業大学	井上 剛
209	With/Post-corona社会及び脱炭素社会実現に向けた「高性能・低コスト、高付加価値を兼ね備えた「革新的超薄肉純アルミダイカスト製ヒートシンク」	大阪工業大学	布施 宏
210	ナノスケール多孔質モスアイ構造を有する赤外線スマートウィンドウの開発	大阪工業大学	和田 英男
211	広範な用途に利用できる無色透明なヒドロキシチロソールを安価に製造するための発酵生産基盤技術の高度化	大阪産業技術研究所	駒 大輔
212	コロナ感染症による肺炎の急性増悪を予防する高濃度抽出S-アリアルシステインの有効性と栄養補助食品の開発	大阪市立大学	月岡 卓馬
213	ウイルス・毒素を吸着する新規光触媒機能性セラミックスの開発	大阪市立大学	横川 善之
214	SiCとダイヤモンド直接接合技術による大口径・高熱伝導率GaN-on-Diamond基板の研究開発	大阪市立大学	梁 剣波
215	地域社会の再生可能資源を用いて構築する微細藻類利用型タンパク質生産システム	大阪府立大学	遠藤 良輔
216	イヌiPS細胞を用いた新規輸血システム開発に向けた基盤的研究	大阪府立大学	鳩谷 晋吾
217	オンライン飲み会を支援するアバターロボットシステムの開発	関西大学	瀬島 吉裕
218	新型コロナウイルスの治療薬開発およびウイルス研究に有用な機能性脂質の探索	甲南大学	今井 博之
219	環境中ウイルスの高感度マルチ計測技術の開発	神戸大学	梶本 武利
220	変異体にも有効なウイルス不活化ペプチドの設計とその高機能フィルターへの実装化	神戸大学	田村 厚夫
221	少量学習データを用いた深層学習による新型コロナウイルス肺炎のレントゲン写真の自動診断	神戸大学	西尾 瑞穂
222	骨格筋超音波刺激による免疫トレーニング法の開発	神戸大学	前重 伯壮
223	新たな発熱者判別システムを目指した、AI搭載サーモグラフィによる高精度な自動判別技術の構築	兵庫医療大学	芝田 宏美
224	体内導入用の細胞の品質評価を目指した、非染色な細胞の機能評価技術の創製	兵庫県立大学	鈴木 雅登
225	With/postコロナ社会の遠隔ヘルスケアを実現する超音波エコー用ウェアラブルデバイスの開発	近畿大学	西川 博昭
226	LED基板における深紫外線反射性および高熱伝導性特性の向上にむけた無機系レジストインクの開発	鳥取県産業技術センター	山本 智昭
227	サツマイモの養液栽培による3密回避、生産性向上および高付加価値化の研究	島根大学	浅尾 俊樹
228	呼吸活性及び脂質代謝に基づいたラマン分光法による卵質の非侵襲評価手法の開発	島根大学	石垣 美歌

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
229	超高感度テラヘルツ波ケミカル顕微鏡式COVID-19検出機器の開発	岡山大学	井上 博文
230	医療施設における、医療スタッフのエアロゾル暴露リスク低減を目的とした補助換気装置の研究開発	岡山大学	落葉 佑昌
231	電気刺激による細胞機能化デバイスの開発	岡山大学	狩野 旬
232	リモートコミュニケーションデバイス筐体のための高い耐環境性をもつ超強度カーボンナノチューブ紡績糸の開発	岡山大学	鈴木 弘朗
233	超広帯域で精密・高感度な計測を可能にする表面増強ラマン活性基板	岡山大学	武安 伸幸
234	早生樹アカシアのゲノム編集新技術の開発とバイオマス発電への利用	岡山大学	田村 隆
235	即時導入と多目的利用を可能にする無人搬送車コアの開発	岡山大学	永井 伊作
236	医療・介護現場での作業負担を軽減するカーボンナノチューブ紡績糸を用いた装着型排気検知ガスセンサーの開発	岡山大学	林 靖彦
237	水害予測センシング網構築のための低コストかつ外部電源不要の流速計の開発	岡山大学	比江島 慎二
238	殺菌、殺ウイルスを実現する水素導入チタンの制御と口腔ケアスワブへの応用	岡山大学	松本 卓也
239	CaMKキナーゼホスファターゼ阻害剤のケミカルバイオロジー：がんとの共生を目指した新たなアプローチ	広島大学	石田 敦彦
240	ウイルス感染に伴う受精障害リスクを低減する体外受精培地の開発	広島大学	梅原 崇
241	飛沫を検出する蛍光性水センサー材料の創製と水分可視化技術開発	広島大学	大山 陽介
242	ポストコロナ時代を支える超低侵襲治療を可能にするホウ素中性子捕捉療法用オールインワン型革新的ホウ素薬剤の開発	広島大学	河崎 陸
243	触感コンピューショナルデザイン支援ツールの開発	広島大学	栗田 雄一
244	高性能な電子顕微鏡用ウイルス染色剤を指向した新規金属酸化物クラスター製造法の開発	広島大学	定金 正洋
245	炭化ケイ素からなるロバスト型ナノ細孔フィルターの開発	広島大学	都留 稔了
246	飛沫感染予防および持続的利用できる高機能性チタン多孔膜マスクの開発	広島大学	土井 一矢
247	地域社会のダイバーシティ&インクルージョンを目指した脳生体ダイナミクスに基づくリモートIoTリハビリテーション技術の開発	広島大学	濱 聖司
248	生物濃縮を活用した下水中のウイルスモニタリング手法の開発	山口大学	赤松 良久
249	PVC含有廃プラとバイオマス燃焼灰との低温同時熱分解による塩素およびカリウムフリー固体燃料製造法の確立	山口大学	田之上 健一郎
250	withコロナ時代を生き抜く地鶏改良に向けた、増体性と歯ごたえに関する遺伝子探索	山口県農林総合技術センター	伊藤 直弥
251	入射光の方向により透過率を制御可能な光学フィルムの開発	山陽小野田市立山口東京理科大学	高頭 孝毅

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
252	赤外線アクティブサーモグラフィによるCFRPの高精度かつ簡便な非破壊検査装置の実現に向けた基礎技術検討	徳島大学	石川 真志
253	安全な胚・細胞培養を可能とする汚染防止培養システムの開発	徳島大学	音井 威重
254	シンチレータを含む機能性紙の開発及びその小型検出器試作に関する研究	徳島大学	三好 弘一
255	運動不足下において筋量維持向上に役立つ機能性食品の創生	徳島大学	向井 理恵
256	新型人工転写因子によるバイオ医薬品生産技術の開発	香川大学	鈴木 辰吾
257	プラズマを用いた家畜の感染症予防のための薬剤経皮吸収技術の開発	愛媛大学	池田 善久
258	閉鎖型育苗施設内の空気清浄機能を兼ね備えた植物種子殺菌装置の開発	愛媛大学	門脇 一則
259	新次元の生体組織学を拓く生体膜成分の3Dλ蛍光イメージング	愛媛大学	川上 良介
260	遊魚水中三次元位置測定装置で得られる遊泳ベクトルに基づく自動魚病感染検出の実用化	愛媛大学	小林 真也
261	H I M E カラムを用いた都市鉱山や採掘残渣からのレアメタルの低コスト回収技術開発	愛媛大学	山下 浩
262	湿式不織布法による捕集効率の高いマスク基材の開発	愛媛県産業技術研究所	藤本 真人
263	抗菌・抗ウイルスと海洋生分解の両立を可能にする「メディシナルプラスチック部材」の創出	高知大学	芦内 誠
264	新しい画像診断を目的としたガス発生装置の作成とwith/postコロナへの応用	高知大学	津田 正史
265	天敵ウイルスを利用したPOCT用迅速細菌検出技術の開発	高知大学	渡辺 茂
266	農作物・家畜伝染病の迅速、簡便なその場検出法の開発	九州大学	中野 道彦
267	超ガス透過性ナノ膜技術を用いた密閉式細胞培養ディッシュの開発	九州大学	藤川 茂紀
268	国産型細胞培養用新規代替血清の開発	九州大学	藤田 龍介
269	畜産害虫サンバエの防除に向けた天敵昆虫の最適増殖法の開発	九州大学	松尾 和典
270	穿刺性と薬剤供給量に優れ、安価かつ手軽に使用出来る新型マイクロニードルシステムの開発	九州工業大学	伊藤 高廣
271	高精度無線時刻同期方式の開発とその測位システムへの応用	九州工業大学	尾知 博
272	電気化学的手法による迅速・簡便・高感度・安価なDNA検出チップの開発	九州工業大学	佐藤 しのぶ
273	ノンデフロスト運転を可能とする熱電ハイブリッドヒートポンプの開発	福岡大学	江崎 丈裕
274	石油由来の電気絶縁油に代わる新たな窒素付加処理技術を用いた高性能な生分解性電気絶縁油の開発	福岡大学	高村 紀充

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
275	感情評価を用いた高齢者・健常者運動促進用歩行補助システムの製品化試作開発	早稲田大学	田中 英一郎
276	色素染色による廃棄物建材等の石綿迅速可視化・リモート検査法の開発	佐賀大学	田端 正明
277	With/postコロナにおけるレジリエントで持続可能な高度医療社会を支援する生体ガスセンサの開発	佐賀大学	富永 昌人
278	コロナ後の脱炭素化社会を加速するIoTに適応した海洋波力発電システムの開発	長崎大学	林 秀千人
279	水道水の微生物学的安全性をリアルタイム監視する技術の開発	長崎大学	藤岡 貴浩
280	予防保全のデジタルトランスフォーメーションを可能とする産業用大型モータの劣化診断装置の開発	長崎大学	古里 友宏
281	with/postコロナウイルス社会へ向けた抗ウイルス製品開発の基盤研究	熊本大学	池田 輝政
282	溶存イオンのインライン連続濃縮による超純水品質評価技術の開発	熊本大学	大平 慎一
283	精子冷蔵輸送技術を用いた実験動物スマートシェアリングシステムの構築	熊本大学	竹尾 透
284	機械的除去加工による3次元表面微細加工に関する研究	熊本大学	中西 義孝
285	完全無菌養蚕技術を利用したカイコ由来冬虫夏草栽培技術の確立と機能性検証	熊本県産業技術センター	佐藤 崇雄
286	リモート授業にも対応できる支援学校向け授業支援システムの開発	熊本高等専門学校	清田 公保
287	多様な分野での実装を志向した生分解性ガスバリア材の開発	大分大学	衣本 太郎
288	QD法電磁ホーン型ESR医療検査機器の創出でCOVID-19重篤化の予測と対処法	大分大学	小林 正
289	革新的偏光変調分光法によるキラリティ偏光解析法の構築	大分大学	原田 拓典
290	生薬の品質評価法を「量」から「質」に転換する分析システムの開発	九州保健福祉大学	甲斐 久博
291	微生物発電と曝気によるハイブリッド型省エネ畜産廃水処理技術	宮崎大学	井上 謙吾
292	海洋分解性/生分解性を有する不織布素材の創生	宮崎大学	林 雅弘
293	抗菌・防かび・抗ウイルス性を発揮するナノカプセル型塗料用添加剤の開発	鹿児島大学	岡村 浩昭
294	機械学習技術の脆弱性を外部からブラックボックス的に検証するツールの試作	鹿児島大学	小野 智司
295	新しい遺伝子検出技術を用いたマダニ媒介性動物感染症の簡易・迅速診断方法の開発	鹿児島大学	田仲 哲也
296	もずくと気泡を用いるマイクロプラスチックの除去技術の開発	鹿児島大学	二井 晋
297	合金クラスターイオンの生成で検出する超高感度マスプローブの開発	鹿児島大学	新留 康郎

連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
298	畜産動物用粘膜投与型ワクチンアジュバントの開発	鹿児島大学	若尾 雅広
299	マイクロ波還元プロセスによる高付加価値金属の製造	沖縄工業高等専門学校	藤井 知
300	透光性セラミックスを用いた光デバイス開発	琉球大学	宮城 加津也

**A-STEP 令和2年度追加公募（トライアウトタイプ：
with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援）
「実装加速」新規採択課題一覧**


連番	研究開発課題名	研究機関名	氏名
1	天然物由来洗浄剤の成分特定と殺ウイルス効果の実証	北海道大学	山本 靖典
2	ヨウ素・界面活性剤複合体を用いたウイルス不活化消毒剤の商品化開発	山形大学	矢野 成和
3	蒸汗センサを用いた熱中症セルフチェックのフィールド実証試験	物質・材料研究機構	川喜多 仁
4	優れた空間遮断力とウイルス不活化機能をもつ卓上型エアカーテンの生成装置の開発	名古屋大学	内山 知実
5	ウイルス不活化機能をもつ個人装用型送気服および送気フェイスシールドの開発	名古屋大学	山本 真義
6	下水疫学「京都モデル」による 無症状感染者を含めたCOVID-19感染状況の施設別モニタリング	京都大学	井原 賢
7	ダチョウ抗体を用いたCOVID-19スーパースプレッダーの迅速検出法の開発	京都府立大学	塚本 康浩
8	食品由来化合物による新型コロナウイルス感染予防手法の確立	京都府立医科大学	松田 修
9	新型コロナウイルスを含むウイルス・細菌類の深紫外線殺菌装置の開発	徳島大学	南川 丈夫
10	ファインバブルと紫外線の組み合わせによる直接的なオゾン水作製と活性酸素種への変換による革新的殺菌技術開発	高知工業高等専門学校	秦 隆志
11	経皮的胸腔内評価デバイスと遠隔診断システムの構築	福岡大学	野瀬 大補

A-STEPプログラムの概要

1. プログラムの概要

A-STEP (A d a p t a b l e a n d S e a m l e s s T e c h n o l o g y T r a n s f e r P r o g r a m t h r o u g h T a r g e t - D r i v e n R & D) は、大学・公的研究機関など（以下、「大学等」^注）で創出された国民経済上重要な科学技術に関する研究成果を実用化し、社会・経済へ還元することを目指す技術移転支援プログラムです。

A-STEPは、大学等の研究成果からシーズ候補を企業の視点から掘り起こして、技術シーズとしての可能性を検証して顕在化させるフェーズから、顕在化した技術シーズの実用性を検証する中期のフェーズ、さらに製品化に向けて実証試験を行う後期のフェーズまでを対象としており、各フェーズの特性に応じた複数の支援プログラムを設けています。

	トライアウト	産学共同		企業主体
		育成型	本格型	マッチングファンド型 返済型
主な プレイヤー	大学等の研究者 	大学等の研究者 	企業と 大学等の研究者 	企業 
資金の 種類	グラント	グラント	マッチングファンド	マッチングファンド 返済型

A-STEPのプログラム構成

2. with/postコロナ対応の募集におけるA-STEP支援メニューの詳細

支援メニュー	令和2年度追加公募			令和2年度公募
	トライアウトタイプ with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される 研究開発課題への支援		産学共同（育成型） with/postコロナにおける社会変革への寄与 が期待される研究開発課題への支援	企業主体（返済型） 【with/postコロナ対応枠】 臨時募集
	標準	実装加速		
目的・狙い	「with/postコロナ社会の変革」や「社会のレジリエンス向上」を含めた社会課題の解決に資する、大学等の研究成果に基づいた、開発ニーズを持つ企業等が着目する技術の実現可能性を検証するための試験研究を、令和3年度公募を前倒しする形で実施し、民間企業の投資意欲を刺激するとともに、with/postコロナ社会に資する新規性と社会的なインパクトを有する研究開発成果の社会実装を加速することを旨とする。		「with/postコロナ社会に向けた変革」や「社会のレジリエンス向上」を含めた社会課題の解決に資するため、大学等における新規性・優位性のある基礎研究成果（技術シーズ）を基に、その社会実装に向けた産学共同研究体制の早期構築を目指す。	大学等の研究成果・技術シーズに基づく企業主体による実用化開発を行う。
課題提案者	大学等の研究者		大学等の研究者	企業
対象分野	特定の分野を指定せずに幅広く募集。 ただし医療分野は対象外。			
研究開発期間	最長1年程度		最長1年程度※1	原則、 最長6年度
研究開発費 ※2	上限300万円 (総額)	上限1,500万円 (総額)	上限750万円 (総額) ※3	原則、 上限10億円 (総額)
資金の種類	グラント		グラント	開発成功時、 要返済 開発不成功時、90%免除 実施料納付

※1：実施期間中の評価により、最長2年度まで、延長を認める場合があります。

※2：研究開発費は間接経費を含みます。

※3：評価を経て延長を認められた場合の研究開発費は、上限1,500万円（年額、間接経費含む、税込）とします。

3. A-STEP令和2年度追加公募（トライアウトタイプ：with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への支援）とは

本公募は、「with/postコロナ社会の変革」や「社会のレジリエンス向上」を含めた社会課題の解決に資する、大学等の研究成果に基づいた、開発ニーズを持つ企業などが着目する技術の実現可能性を検証するための試験研究を、令和3年度公募を前倒しする形で、A-STEPトライアウトの形式を利用し、「トライアウトタイプ」として実施するものです。

with/postコロナ社会に資する、社会的・経済的なインパクトにつながると期待されるイノベーションの創出に向け、本格的な産学共同研究開発を実施するための基礎となる研究成果に基づく技術シーズの形成を目指します。

4. 支援の概要

4-1. 研究開発支援

大学等の研究成果に基づいた、開発ニーズを持つ企業などが着目する技術の実現可能性を検証するための試験研究開発費の支援に加えて、マッチングプランナーによる研究開発活動の支援を実施します。

募集形式	標準	実装加速
研究費支援金額	上限300万円	上限1,500万円
支援対象期間	契約締結日から令和4年3月末まで	
活動支援	研究開発期間中、マッチングプランナーが進捗状況などについて随時確認しながら、目的が達成されるよう研究代表者や支援人材、企業担当者などと面談し、研究開発の遂行上必要な指導・助言などを行います。	

4-2. 成果展開

研究開発期間終了後も、本支援による研究成果については、マッチングプランナーが、研究開発の進展に資する新たな企業、研究者などとのマッチング、支援制度の紹介や活用支援、成果の広報支援などを行います。

5. マッチングプランナーとは

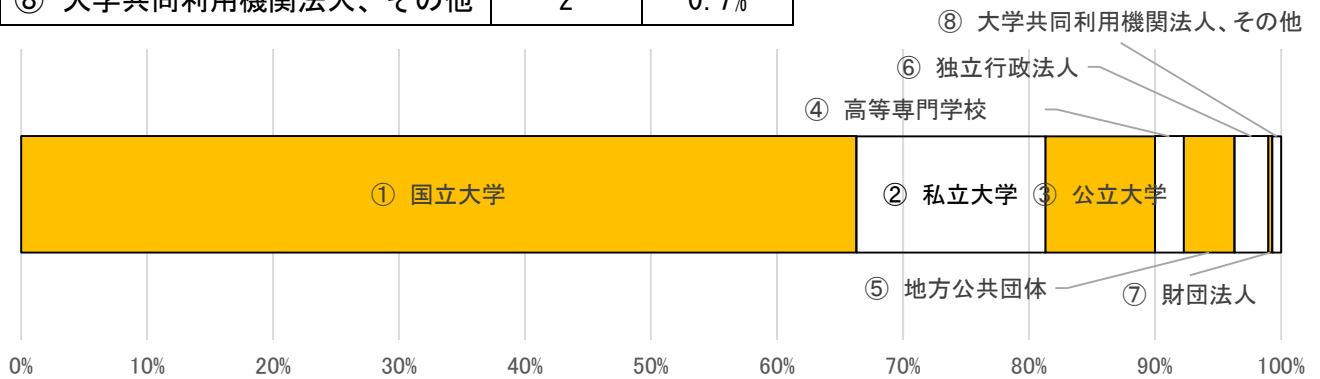
本プログラムでは、地域の産業の特徴、集積、交通の利便性などを踏まえて全国を5つの地域ブロック（東北・北海道、広域関東圏、近畿・中部、中国・四国、九州・沖縄）に分割し、それぞれにマッチングプランナーを配置します。

マッチングプランナーは、各地の産学連携の担い手である研究機関や企業、自治体、金融機関などと連携し、技術移転の可能性が見込まれるテーマを発掘し、研究開発の方向性などについて相談、助言などを行い、さまざまな支援メニューの活用や最適な協力者とのマッチングを通じて、研究開発の加速を支援します。

A-STEP令和2年度追加公募（トライアウトタイプ）
 <標準>新規採択課題の参考データ

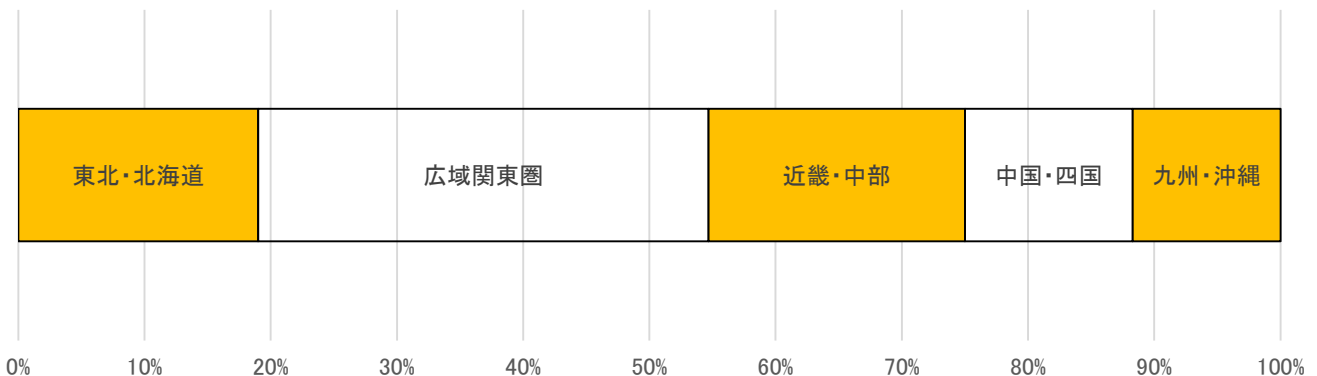
■新規課題のシーズ元機関別割合

	採択数	比率
① 国立大学	199	66.3%
② 私立大学	45	15.0%
③ 公立大学	26	8.7%
④ 高等専門学校	7	2.3%
⑤ 地方公共団体	12	4.0%
⑥ 独立行政法人	8	2.7%
⑦ 財団法人	1	0.3%
⑧ 大学共同利用機関法人、その他	2	0.7%



■新規課題のシーズ元機関の地域別割合

	採択数	比率
東北・北海道（北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）	57	19.0%
広域関東圏（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・静岡県）	107	35.7%
近畿・中部（岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）	61	20.3%
中国・四国（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）	40	13.3%
九州・沖縄（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）	35	11.7%



※小数第2位以下を四捨五入している関係上、比率の合計が100%にならない場合があります。

A-STEPトライアウト
評価・推進会議委員一覧

氏名	所属機関・役職
飯田 香緒里	東京医科歯科大学 副理事（産学官連携・オープンイノベーション担当） 統合研究機構教授・産学連携研究センター長
伊藤 弘昌	理化学研究所 客員主管研究員 東北大学 名誉教授
岩渕 明	前 岩手大学 学長 岩手県工業技術センター 顧問
城野 理佳子	北海道大学 産学・地域協働推進機構 産学連携推進本部 産学協働マネージャー
佐藤 久子	愛媛大学 大学院理工学研究科 環境機能科学専攻 教授
豊玉 英樹	JST 開発主監（プログラムディレクター）
仲井 朝美	岐阜大学 工学部 機械工学科 教授
林 勇二郎	金沢大学 名誉教授
平原 彰子	鹿児島大学 産学・地域共創センター 特任専門員
松浦 栄次	岡山大学 中性子医療研究センター 教授 大学院医歯薬学総合研究科 教授
村井 眞二	奈良先端科学技術大学院大学 特任教授 岩谷産業株式会社 取締役（非常勤）
山田 淳	公益財団法人 九州先端科学技術研究所（ISIT） 所長

令和3年3月31日現在
(敬称略、五十音順)